

(別紙様式3)

令和6年度学校評価(年間評価)

学校名 大分県立大分雄城台高等学校

前年度評価結果の概要	〇OGI学(総合的な探究の時間)では、フィールドワーク実施や成果発表等、「志」向上に向けた各種取り組みに学校全体で組織的に推進することができた。 〇文武両道や挨拶の徹底、清掃指導により、保護者や地域の方々から好評価を受けた。引き続き生徒主体の生徒会活動、ボランティア活動等の充実を図る。 〇観点別評価に向け、単元デザインシートを活用した「指導と評価の一体化」を推進することができた。ICTの利活用推進やパフォーマンス評価、振り返りのさらなる充実の必要性。 〇新課程や共通テストを踏まえた授業アップデートと生徒の学ぶ意欲や主体的な学習態度向上とGTZのグレードに応じた組織的な進路指導の充実に課題。 〇OGI学において、課題設定や中間評価等の場面で外部人材を活用した評価・振り返り等の推進及びDXスクールに基づいた観察・実験等の理数系探究の充実に工夫が必要。
------------	--

学校教育目標	中期目標	重点目標
「誠実・自主・創造」の校訓のもと、持続可能な社会の構築に必要な資質・能力である情報整理力・課題解決力・発信力・協働・自他の尊重・チャレンジ精神の育成を図る教育活動をととして、社会において逞しく生き抜き、主体的・積極的に社会貢献できる生徒の育成を目指す。	1 確かな学力の定着と3年間を見通した進路指導により、進路希望の達成を目指す。 2 真剣な学習活動と活発な部活動をととして、「文武両道」を推進する。 3 信頼関係に基づいた、手厚い生徒指導と積極的なキャリア教育により、心豊かで、尊敬される人材の育成を推進する。	1 あらゆる教育活動における主体性の育成による「情報整理力」と「課題解決力」の向上。 2 規範意識の醸成による「協働」と「自他の尊重」の向上。 3 外部との連携・協働による「発信力」と「チャレンジ精神」の向上。 4 教職員の心身の健康の保持増進による教育の質の向上。

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL	自己評価結果		次年度の改善策	学校関係者評価
					評価	分析・考察		
1 あらゆる教育活動における主体性の育成による「情報整理力」と「課題解決力」の向上。	① 外部模試の各学年GTZのB1以上 65名以上 (国公立大合格者 100名以上)	〇一人ひとりの進路意識や学力の向上を図るための個に応じた進路指導の実践	〇模試検討会(1・2年3回、3年2回)、進学審査会(3年3回)における詳細な情報共有と進路希望に基づいた面接、α-プロジェクト・アドバンストセミナー・進路ガイダンス等による学習意欲喚起	PL 進路指導主任 SL 年次部主任	3	・模試GTZ B1以上:3年30名2年43名1年50名(11月進研) 〇進学審査会・模試検討会で現状と対策を検討し、組織的な進路指導の充実をはかる。 〇3年:朝・放課後で自学、冬季特別講座実施、出席率きわめて良好	〇主体的学習の推進に向けた外部模試についての目標設定や振り返りを通した事前事後指導の見直し 〇志望校の目標を高め、背中を押す面談等の実施 〇主体的な学びに向かわせる進路意識醸成の取り組みの継続(進路HRA、模試計画、学習時間調査等)	〇上位者指導を含めたきめ細やかな進路指導体制により、進学実績が上がっている。
	② 授業の理解度・満足度の割合 90%以上	〇ESDによる「持続可能な社会の構築に貢献できる資質・能力」を育成する指導と評価の実践	〇DXスクールを基盤とするSDGsに主眼を置いた総合的な探究の時間の探究活動や互見授業等(年2回)を軸とした「単元デザインシート」による授業並びに観点別評価・めあてと振り返りの充実	PL STEAM教育主任 SL 指導教諭		・学校生活実態アンケート「授業満足度」肯定92%(強い肯定38%) 「探究活動への積極性」肯定93%(強い肯定57%) 〇全県下でDX機材の搬入並びに講習会などが遅れ、十分な事前準備ができなかったため、DXの新たな機材を活用できなかった。	〇観点別評価を踏まえた単元目標の達成度を測る表現課題のさらなる工夫・改善 〇DX機材の職員研修の早期実施と機材の活用 〇2年次の探究活動について1年次からの継続を積極的に認め、より深い部分まで探究できる環境整備	〇授業において単元デザインシートを活用した授業改善が着実に進んでいる。 〇引き続き組織的な授業改善に取り組んでほしい。
	③ 自主学習時間1年2h・2年3h・3年4h以上の割合 80%以上	〇24時間をデザインし、総探も含めた家庭学習及び早期からのキャリア教育充実による真の「文武両道」の実現	〇自主学習時間調査(毎月)・対外模試と連動した個人面談の充実(3回以上/年:推薦等を意識した各種コンテスト・資格取得等の推進や模試結果の振り返り)	PL 進路指導主任 SL ICT推進リーダー		・1年:69% 2年:21% 3年:51% ※3年国公立モデル選択者は72%(9月学習時間調査) 〇模試での志望校設定等及び個人面談による意欲向上に向けた仕掛け作り 〇2年次部で、春季校内学習会を実施予定	〇学年会議での学習調査結果分析と改善策の検討 〇classiの自主学習機能の活用とスタディサポートの見直しによる学習時間確保と学習習慣の再構築 〇土曜講座に代わるOCや志を高める各種イベント等への生徒・保護者への積極的参加要請 〇学年・進路・STEAMより企画・イベント等の情報提供	〇様々な取組が実施できており、生徒のモチベーションが上がっていると感じる。今後、自主学習時間が伸びることを期待します。
	④ 学校行事への積極的参加の割合 (強い肯定) 70%以上	〇SDGsへの貢献を意識した学校行事や生徒会活動等のあらゆる教育活動を活性化	〇SDGsに貢献する生徒主体の生徒会活動・学校行事の実践(年3回)	PL 特別活動主任 SL 年次部主任		・学校生活実態アンケート「学校行事・生徒会活動へ積極的参加」強い肯定77% ・九月祭振り返りアンケート「満足度」強い肯定78.9% ・新入生対面式/生徒総会/新春行事/部活動激励壮行会/全校集会の実施	〇生徒の主体性を育む特別活動により更にSDGsを意識した取り組みの実践 〇特別活動を通じた進学力(課題解決力・情報製習力・発信力)の更なる向上	〇生徒が主体的に九月祭などの学校行事に取り組んでおり、生き生きしている。
2 規範意識の醸成による「協働」と「自他の尊重」の向上。	① 「あいさつの励行」・「清掃の徹底」の割合 (強い肯定) 70%以上	〇「雄城坂はあいさつの坂」運動の継続と清掃活動の徹底	〇師弟同行による「先のあいさつ」と「清掃活動」の徹底(常時)	PL 生徒指導主任 SL 年次部主任	3	・「あいさつの励行」・「清掃の徹底」の割合78.7%(強い肯定) 〇雄城坂での挨拶を生徒が自主的に継続 〇昇降口前での教職員による挨拶運動の実施	〇師弟同行による「先の挨拶」の継続と「清掃の開始時間の厳守」について職員・生徒への徹底を図る 〇新入生の「身だしなみ・マナー講座」の早期実施	〇雄城坂での挨拶がよく行われているのは気持ちよい。校内での挨拶がさらによくなることを期待します。 〇校内は清掃が行き届いていて、いつも気持ちが良い。
	② 自転車事故件数 20件以下	〇自転車通学生の交通ルール・マナーの向上	〇新入生への早期交通安全指導と登校指導・駐輪場指導等の実施(毎月)及び生徒・保護者への時間に余裕のある登校の推奨・依頼	PL 生徒指導主任 SL 年次部主任		・自転車事故発生件数13件・前年比 65%(1月末現在) 〇生徒主体の交通講話等によるマナー・安全意識の向上 〇生徒会と連携した危険マップ等の周知徹底	〇交通ルール・マナー遵守と啓発を図るための自転車通学生集会等を実施 〇交通安全講話の実施 〇新入生対象の自転車事故防止安全教室の実施	〇事故の発生件数は昨年より減っており、自転車通学者集会の成果が出ていると思われる。今後もマナー意識の向上も含めた指導を継続していただきたい。
	③ 安心して学校生活を送れる学校だと思う割合 (強い肯定) 60%以上	〇ESDによる「協働」・「自他の尊重」・「自律的精神」の育成	〇「先の先」によるいじめの早期発見、人間関係づくりプログラムの実施(毎週・各学期)と「OGIメモ」の活用(毎日)	PL 保健・教育相談主任 SL 人権教育主任		・安心して学校生活を送れる学校51%(強い肯定) 〇OGIメモベアワークを週1回実施済 〇「構成的グループエンカウンター」を学期毎に実施した 〇「先の先(いじめ早期発見チェック)」を月1回実施済	〇OGIメモベアワーク、構成的グループエンカウンターを継続実施 〇「先の先」「いじめアンケート」によるいじめの早期発見	〇ケース会議が多く行われており、生徒の悩みごとの早期発見ができており、適切に対応できている。
3 外部との連携・協働による「発信力」と「チャレンジ精神」の向上。	① 学校満足度の割合(強い肯定) 50%以上【保護者】	〇保護者との協働による学校教育活動の推進	〇PTA総会・体育文化振興会総会・保護者連絡会等の計画と運営の充実(参加率70%以上)	PL 総務主任 SL 教務主任	3	・学校満足度の割合(強い肯定)【保護者】62.0% 〇PTA総会・体育文化振興会等総会を対面にて実施 〇交通安全指導、クリーンアップ雄城台、PTAバス研修、雄風鍋、制服リユース、強歩大会補助員等の実施 ・PTA総会等への参加率42.4%(委任状含む88.4%)	〇PTA総会の広報、WG形式の趣旨周知等による加入率の向上促進 〇参加しやすいPTA総会の在り方・内容等を検討 〇PTA諸活動におけるWG形式の充実・発展について検討	〇保護者アンケートの結果にあるように、学校に対する保護者の満足感が高いことが素晴らしい。
	② 地域の産業界や同意会等との協力・連携による学校づくりの割合(強い肯定) 40%以上【保護者】	〇地域の産業界や大学等との連携強化	〇「里帰り講演会」・「50周年国外・国内研修」の実施とSDGsを題材とした総合的な探究の時間における保護者・企業等による学校教育参画(年2回以上)	PL 主幹教諭 SL 教務主任		・学校と保護者・同意会との協力・連携(強い肯定) 40% 〇著名人を招いての講演会実施(創立50周年記念事業) 〇国内語学研修への生徒派遣・補助(創立50周年記念事業) 〇総合的な探究の時間におけるアドバイス・発表会参加等による地域の企業・同意会等との連携・推進	〇総合的な探究の時間における企業・保護者との更なる連携充実 〇創立50周年記念事業に係る産業界・大学との連携推進	〇今後も生徒に刺激が与えられるように、外部講師を活用した企画を充実させていただきたい。
	③ HP等で本校の魅力が伝わっている割合(強い肯定) 40%以上【保護者】	〇情報発信の強化	〇HPの積極的な更新(年間150回以上)、「学校広報紙」発行(年8回以上)	PL 図書・広報主任 SL 教務主任		・HP等で本校の魅力発信(強い肯定)【保護者】40% 〇学校行事や校内の様子を中心にタイムリーな学校HPの更新を実施(1月末現在更新回数136回) 〇広報紙「雄城坂」の隔月発行の実施	〇他分掌・学年との連携や分掌内の協力による、生徒の活動に関わる情報の共有のさらなる推進 〇本校生の活動や校内の様子を伝える様々な記事を集め、タイムリーなHPの更新と広報紙の発行を継続	〇タイムリーにホームページの更新ができている。
4 教職員の心身の健康の保持増進による教育の質の向上。	① 月当たりの時間外業務時間、前年度比 3%減	〇教職員の勤務時間に対する意識向上に向けた時間管理の徹底	〇書類作成時における昨年度のファイル等の提示による業務効率化と「早く帰る日」(毎週)と定時退勤日(毎月)の推進	PL 教頭 SL 衛生管理者	2	・超過勤務時間: 昨年度比4月～12月平均時間 7%増 〇定期考査1日目の定時退勤日の実施 〇管理職からの年休・夏季休暇・振休取得促進 〇定期考査初日を定時退庁日に設定	〇最終退校時刻を19時00分とし、最終退校時刻を意識した仕事の進め方実施 〇教師用・生徒用タブレットの活用による授業準備やアンケート及びアプリによる採点効率化を推進	〇先生方自身の健康も考えながら働いていただきたい。
	② 時間外勤務45時間超の人数、前年度比10%減	〇教職員・生徒の健康管理のための部活動休養日の徹底	〇部活動休日(週2日)を確保した部活動指導計画の作成とClassi等による周知徹底(毎月)	PL 主幹教諭 SL 特別活動主任		・45時間超過人数昨年度比4月～12月合計人数 7%増 〇部活動指導計画の周知を確実に実施(Classiまたは紙媒体)	〇全部活動の指導計画周知におけるClassi等の活用徹底 〇教職員・生徒における健康管理のための休養確保確認の体制整備	〇部活動の成果への期待もあり、働き方改革とのバランスを取るのが難しいと思うが、さらなる業務の効率化を進めてほしい。

総合評価 次年度への展望等	〇生徒一人一人に応じた全教職員参加の進路指導体制及び生徒指導体制の充実により、進路意識の向上と規範意識の醸成が図れた。 〇新学習指導要領への対応と、ESDの視点を踏まえた授業とSDGsを題材とした探究活動の評価・振り返りに重点を置いた研究を推進することができ、進路希望実現に効果を発揮した。 〇「雄城坂はあいさつの坂」という意識を生徒が持ち、清掃にも意欲的に取り組むことで、保護者や地域の方々から挨拶や掃除などについてよい評価を受けることができた。校内でのあいさつの意識を向上を目指す。 〇自転車事故件数は減少傾向にあり、自転車通学生集会などの取組の効果が表れている。自転車通学生の更なるマナー意識の向上に取り組むことにより、交通事故防止に努める。 〇文武両道実現の部活動、SDGsへの貢献を意識した生徒会活動、ボランティア活動を積極的にに行い、HPや広報誌「雄城坂」による情報発信を行うことができた。 〇一人一台端末の環境整備と百問繚乱等のソフトウェアの効果的活用により、業務効率化・働き方改革の推進が図れた。勤務時間管理を意識できる取組が必要である。
------------------	--